

ボールの特性レポート

BALL REPORT



ボール名	フルスウィング	投球者	徳江 和則	センター	平和島スターボウル
RG	2.510	△RG	0.056	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール	

テストボール：フルスウィング

フレアーの幅 インチ

PAPからピンとの距離 5 インチ

表面加工

- 箱出し状態
- 加工
- ペーパー
- ポリッシュ

研磨剤

番

比較対照ボール：パワースウィング

フレアーの幅 インチ

PAPからピンとの距離 4 インチ

表面加工

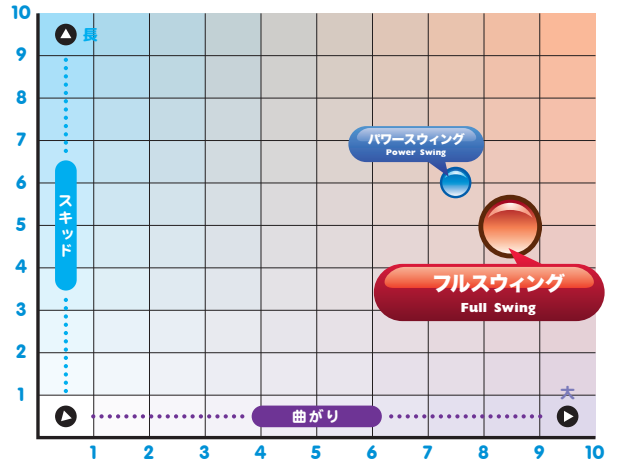
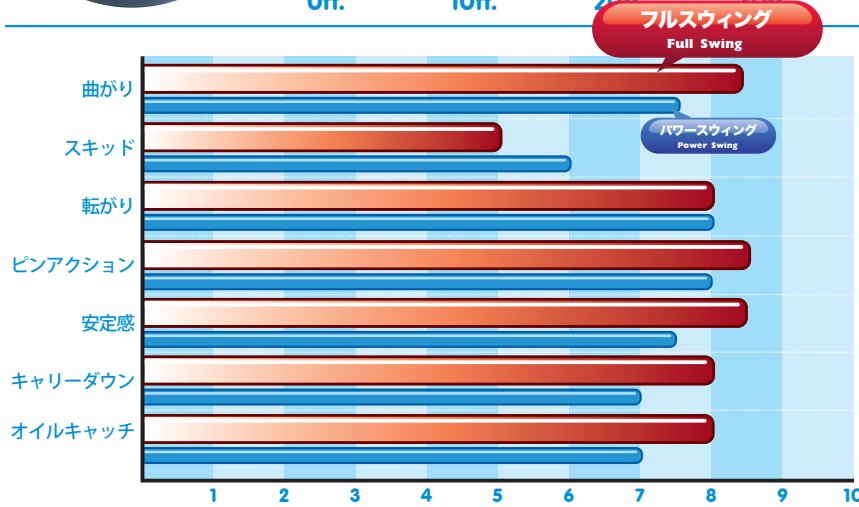
- 箱出し状態
- 加工
- ペーパー
- ポリッシュ

研磨剤

番



- ヘビー
- ミディアム
- ライト
- バフ



レーンコンディション: Light Oil, Light to Medium, Medium Oil, Medium to Heavy, Heavy Oil

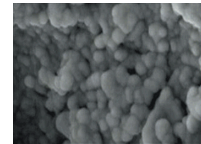
バックエンドリアクション: Smooth, Smooth to Arc, Arc, Arc to Sharp, Sharp Angle

レンジス: Early Roll, Early to Med, Med-Lane, Med to Late, Late Roll

ボールの評価

Full Tilt 5.0カバーストック。Mass Bias Full Swing Asymmetricコア。
 新たな2つのテクノロジーで、さらに進化を遂げたSWINGが7月9日全世界同時されます。
 まず特徴的なのがFull Tilt 5.0カバーストック。
 今回コロンビア社から発表されたカバーストックはFull Tilt 5.0とFull Tilt 4.0カバーストックの二つ。数値が上がるほどキャッチの強さを表し、今回のFULL SWINGはFull Tilt 5.0を使用しています。もう一つはMass Bias Full Swing Asymmetricコア。SWINGではじめてのマスバイアスコアを使用しています。
 実際このボールは今年のジャパンカップ中このボールをテストしましたが、キャッチは初代SWINGよりやや走り、バックエンドは今までのSWINGシリーズで一番Angularな性能に感じました。コロンビア開発者からPAPからピン5インチでドリルするように指定されましたが、そのレイアウトでも今までのSWINGシリーズと比べてもパフォーマンスが出ていると感じます。RG 2.50、Diff .056(15P)で特に△RGは高めに設定されており、コアの非対称差からみてもかなりコア自体の「ねじれ感」を意識して作られています。オイルに強くても手前のスキッドは感じられ、ミッドエリアで曲がり始めて、またさらに切れる感じを得られるそのパフォーマンスには驚かされました。今回のFULL SWINGは曲がりバックエンドの切れ感を意識したボールです。

Full Tilt 5.0



Full Tilt 4.0



特記事項

6月1日から6日全国6会場で行われたダイナミックツアーの試投会で最も注目されたボール。オイルに対する強さと柔らかく切れるリアクションは新生SWINGを名乗るに相応しい性能だと思えます。